

<方針2>

- ・大学生、留学生、IT人材を増加させる方向性も必要である。
- ・学生や親世代だけではなく、子どもにも目を向けた取組内容があると良い。
- ・学びに関する基盤が充実しており、幅広い教育機会を享受できることや、スタートアップ企業と大学との連携等について、より積極的に取り組めると良い。
- ・大学の立地は都心回帰が進んだり、郊外立地が進んだりと変化があることへの危機感を持ち、多摩ニュータウンに大学があることの魅力を感じられる仕掛けが必要である。

<方針3>

- ・福祉サービスの送迎アクセスの課題は改善が進んでおり、「新たな再生方針」では記載を省く。

<方針4>

- ・MICEの基盤がまだ整っておらず、期待する。
- ・都市OSを多摩ニュータウン全域で検討できるとスケールメリットもあり良い。そのとき全体を取りまとめられるのは東京都であると思う。

第3回委員会での主な意見(2)

<方針6>

- ・既存のみどりの維持のためには適切な更新も必要である。
- ・農と住がセットになった住宅の提供等もあると良い。
- ・快適さの緑のみならず、生態系の保全等についても言及があると良い。
- ・多摩ニュータウン内での地産地消という仕組みがあっても良いと思う。

<実現に向けて>

- ・7つの方針にシームレスに取り組むことが必要である。
- ・ハードとソフトの連携、都・地元市・関係団体の連携があり、エリア全体での取組となることが必要である。
- ・ハードとソフトの連携等、推進には時間を要することも理解いただきたい。
- ・地元市で取り組む際の、都からの財政支援・技術支援等を望む。
- ・来年度の再生プログラムで、プロジェクトの具体内容を検討する。

<全体>

- ・将来像の「都心にない緑豊か」の表現は、都心と比較している印象を与えるので「緑豊か」だけで良い。
- ・「働く・創造する」ということが、方針のタイトルからも感じ取れるよう書き込めると良い。



頂いたご意見を踏まえ、新たな再生方針に反映